

■ 第14期（2016年度）の講座の中で、「1日体験入学」が可能な講座です。

講師の都合などで日程・会場などが変更になることがあります。

講座日	テーマ	講師(敬称略)	会場・場所	講座の内容
6月8日(水)	自然のしくみ③	佐藤治雄	奈良公園	奈良公園の飛火野やナギ林を歩きながら植物を観察し、サクセションを軸に自然について学ぶ
6月18日(土)	水田を見る	松下美郎	能勢くりの郷	田植えの終わった谷津田を歩き、日本のコメ作りの現況とその環境を知る
6月22日(水)	磯の生き物	田中広樹	長松海岸(岬町)	干潮の磯で様々な生き物を観察し、大阪湾の環境について考える
7月13日(水)	保全生態学	戸田耿介	甲山湿原	自然環境保全とその重要性を知り、多様な生き物と共存する地域づくりについて学ぶ
8月10日(水)	ツバメの ^{ねぐら} 入り	高田 直俊	京阪観月橋駅(17時集合)	宇治川(向島)にてツバメのねぐら入りの観察をする
8月 26 ²⁷ 日(土)	野鳥②	関 優	南港野鳥園	鳥とはどんな生き物？ 渡りの中継地・干潟に立ち寄る野鳥を観察する
9月10日(土)	野生動物との共存	鳥居 春己	奈良公園	奈良公園のシカを軸に人と野生動物とのかかわりを考える
9月21日(水)	昆虫②	前田 一郎	明日香・甘樫の丘	秋に見られるコオロギ・バッタ・トンボなど昆虫の生態について学ぶ
9月28日(水)	金剛山の自然	佐藤 治雄	金剛山	金剛山山頂付近の植生・樹木を低地との違いを視野に入れながら観察する
10月5日(水)	植物②	木村 進	泉北・光明池	植物の生活史と生存戦略について学ぶ
11月9日(水)	キノコ・菌類	澤島 拓夫	近畿大学農学部	菌根菌の生態的役割・キノコの分類と同定方法について
11月16日(水)	淀川の自然回復	高田 直俊	淀川左岸(樟葉～枚方へ)	生き物や復元されたワンドを見ながら、水域環境の現状と課題を考える
11月30日(水)	地域の保全活動	田淵 武夫	富田林・奥の谷	長年、保全活動を継続している現場を歩き、自然環境保全の考え方、手法などを体験する
1月18日(水)	保全運動	田丸 八郎	信太山丘陵	信太山の自然を守る運動から、保全運動の理念・目標、具体的な運動手法などを学ぶ
2月15日(水)	哺乳類	早川 篤	箕面鉢伏山 又は青貝山	哺乳類が残したフィールドサインをもとに彼らの生活を探る

● 受講時間は各講座とも 10:00 ~ 15:30 頃（8月10日を除く）原則として雨天決行

※ 野外での活動が中心になりますので、軽ハイキングをする程度の体力が必要です。



第13期 ツバメの^{ねぐら}入り(2015年8月)

第13期金剛山の自然(2015年10月)

第13期 保全運動(2016年1月)

【各講座の写真を市民大学のページ(http://www.nature.or.jp/training/shimin_daigaku.html)内の「自然環境市民大学アルバム」で見ることができます。】

■ 第15期(2017年度)自然環境市民大学受講生募集予定

- 講座期間 : 2017年4月から2018年3月まで講座39回程度
- 受講料 : 55,000円(予定)
- 申し込み : 2016年12月より受付開始

